

男性介護ネット通信

No.4
2010.4

ひとりじゃない。
生きる勇気がわいてきた。



2010年4月25日●発行
「男性介護ネット通信」
通巻4号

発行●
男性介護者と支援者の
全国ネットワーク
<http://dansei-kaigo.jp/>
info@dansei-kaigo.jp

3月7日(日)に立命館大学にて男性介護者と支援者の全国ネットワーク第2回総会及び1周年記念式典が開催されました。午前中に開催された総会では、発足初年度であった2009年度の事業と決算の報告と2010年度の事業計画と予算の提案がされ、採択・承認されました。午後からは長門裕之さんの記念講演などが行われました。

ネットワークは、発足一年にして四〇〇名に及ぶ会員を得るとともに、これらの会員が四三都道府県に分布しているなど飛躍的な拡大を果たしたことが明らかになりました。二〇一〇年の事業においては、全国の会員が身近な場所ですごえるよう交流会の拠点拡大や介護体験記の継続した作成を目指すこととしました。

総会では、キリン福祉財団渡辺洋三常務理事、認知症の人と家族の会高見国生代表理事よりご挨拶を頂き、樋口恵子氏、全国パーキンソン病友の会会長齋藤博氏、長妻昭厚生労働大臣、福島みずほ内閣府大臣、泉ケンタ内閣府政務官からはメッセージが寄せられました。

また、役員体制の変更と

パワーアップして一周年 男性介護ネット第二回総会・ 一周年記念式典開催

して、発足の際の推薦人であった樋口恵子氏、鎌田實氏、高見国生氏が顧問として就任することとなりました。

午後からは、記念式典が行われ、会員以外の一般市民の参加者も多く、二五〇人を超えました。

最初に、俳優の長門裕之氏の記念講演「介護が教えてくれたこと・夫婦の歩み」があり、長門氏の妻であり女優の故・南田洋子さんの介護体験を時にユーモラス

に、しかし家族介護の意味深さを切々と訴える話がされました。講演の中で長門氏は、制度の周知が行き届いていない点や費用負担の問題点を指摘する一方で、認知症になっても家族だからこそ心が通じ合う介護の大切さを語られていました。講演の最後には、介護者が共に支え合うことへのエールをいただき、喝采のもとに講演を終えられました。

その後、参加している男性介護者によるリレートークが行われました。

(2面につづく)

【写真上】講演する長門裕之氏
【写真下】総会風景



会員みなさまへ 2010年度 会費納入のお願い



2010年度も引き続き会員としてご継続いただきたく会費を同封の郵便振替用紙で納入くださいますようお願いいたします。会員のご加入は活動の大きな励みになっております。ぜひ継続いただき「男性介護ネット」を盛り上げていただきたいと思います。よろしくごお願い申し上げます。

NPO法人 スマイルウェイ

「孤立しない、させない男性介護者」を合言葉に

PROFILE ●
 主催・問合せ先：
 NPO法人 スマイルウェイ
 男性介護者会「のんびり倶楽部」
 〒665-0044 兵庫県宝塚市末成町 6-18
 TEL&FAX：0797-62-9320
 ホームページ：http://www.smileway.jp/
 ブログ：
 http://www.hnpo.comsapo.net/weblog/myblog/213



平成一八年、京都桂川で起こった男性介護者が母親を殺した事件は、社会に衝撃を与えました。私たちがNPO法人スマイルウェイの活動が男性介護者支援活動にシフトをするきっかけになりました。そして翌年八月に私たちは宝塚市で初めての男性介護者会「のんびり倶楽部」を開催したのです。当初、認知症の勉強、介護法、料理教室など、役立つこと、身に付けてもらいたいことを、事前にプログラムして開催していました。しかし、始まった当初には十人くらいいた参加者は徐々に減っていったのでした。もうやめようかとスタッフの気持ちは消極的になっていきました。

「あなたの話を聞いてください。」
 「私はこの事で悩んでいるんです。」
 「あなたのその気持ち、分かります。」
 それ以来、「のんびり倶楽部」のスタンスは、話してもらうことに重点を置いた会。参加予約不要。議題、プログラムもなし。一、三ヶ所で勝手に話しているようなこともありますが、あえてまとめようとはしません。それでも不

思議なことに、いつの間にか、またひとつの話題に全員が参加しているのです。最近話し合われた印象的な話をご紹介します。今年一月一八日。介護に疲れた五一歳の息子が車椅子の母親を神戸メリケンパークのトイレで絞殺し置き去るというショッキングな事件がありました。そのことが話題ののぼり、「直接解決に繋がるわけではないけれど、吐き出すような場があるということ」が大きなこと。一人で抱え込んで我慢している人は、介護殺人とか介護心中とかに繋がってしまうと思う。だから、そういう人がこういう会を知っていれば、介護殺人とかにはならないと思う。この人（新聞記事の息子）のことを知っていたら、なにか言っておあげられたのにな、と思う。」

孤立しない、させない男性介護者
 この言葉を合言葉に、男性介護者の集いの場を提供、コーディネートするのが私たちの基本的な役割だと思っています。さらに昨年の十一月から参加者の貴重な発言を、全国の男性介護者の方々にも聞いていただきたく、思い切ったビデオ撮影を始めました。もちろん、参加者の了解をいただいた方だけですが、思っていた以上に皆さんカメラの前で介護体験や介護についての意見を活発にお話いただいています。

「男性介護者ビデオレポート」としてDVDにして観ていただけるよう編集集中です。でご期待ください。

兵庫県の宝塚市と伊丹市で毎月男性介護者会を開催しています。多くの方の参加をお待ちしています。

「介護が変わると、笑顔の人生が」と、異口同音に語る

河野丈二郎さん・宮崎県
 介護一〇年目、アルツハイマー病の妻を介護中。妻と一緒に同行してくれるので安心して旅行できます。診断後、アリエソートの処方のみで、何もすることはできないといわれ、三年間は妻とケンカし徘徊もありました。

合唱団を消すか、介護を消すか、妻はどうすればいいか、妻は教えてくれない。私の定年後は家で二人っきりで、何もできない妻に我慢できず、怒りの介護をしていました。妻の顔からは笑顔が消えて、目を合わせなくなり、徘徊するようになりました。平成一二年八月二〇日に行方不明となり、二三キロ離れた場所で見つかりました。妻は「鎌倉に帰る」と言い続け、自分の介護を反省。それからはやさしい介護に…。

「認知症の人と家族の会」に入会し介護を教してもらい、楽しい介護に。いつまで続くか分からないが、これは自分の介護次第と思っています。頑張らない楽しい介護をしていきます。催しも旅行はハワイにも行きました。

私のストレス解消は合唱団で歌を歌うこと。妻の心にそった愛を込めた介護で穏やかな生活になりました。妻は自分を犠牲にして私にどう生きるかを教えてくれました。こんな人生が送れるのは妻のおかげ。妻は私の道標です。要望は、介護者が介護できない緊急事態になった時の代替えの体制がとれるようにしてほしいです。

「家族の会」に入会し介護者が元気に。妻を介護中。八年前にアルツハイマー病の診断を受けたのですが、「治らない」にショックを受け自殺も考えましたが、何もしいままで、悪い介護ばかりしてきました。妻が元気な頃はうっとうしい存在でしたし、告知後は病

悪口を言わず、「ありがとう、そうですか」と言っようしています。幸福感、満足感を持って生きることが大事です。悔いのない介護をしたいと思っています。

里村良一さん・岐阜県
 アルツハイマー病の病態では中の下くらいの妻を介護し一二年目。発病後三年くらいは旅行などにも行っていましたが、物盗られや嫉妬妄想がひどくなり、私の母の悪口を言い始め、私は精神的にまいり、妻はグループホームへ入所。ショッキングな事件があり、それから妻の写真を撮るようになり、それなら症状が緩和し、いい方向に向かうようになり表情も豊かになりました。

気が怖かった。「認知症の人と家族の会」に入会し、一人で悩んでいましたが、みんなの協力や知恵をもらい、私が元気になりました。今は化粧道具、漢方薬を煎じたお茶を保冷ボックスに入れた荷物を持ち歩いていきます。また、足のオイルマッサージで温かさを伝えていきます。

外山 努さん・大阪府
 妻を介護中。八年前にアルツハイマー病の診断を受けたのですが、「治らない」にショックを受け自殺も考えましたが、何もしいままで、悪い介護ばかりしてきました。妻が元気な頃はうっとうしい存在でしたし、告知後は病

朝は朝食をつくり、母の昼の食事の準備、出勤後は昼食を忘れて食べない母に電話をし、食べるように声をかけています。介護保険を申請し、春からはデイサービスを利用する予定です。くだらない力を入れない介護を…。

「認知症の人と家族の会」に入会し介護を教してもらい、楽しい介護に。いつまで続くか分からないが、これは自分の介護次第と思っています。頑張らない楽しい介護をしていきます。催しも旅行はハワイにも行きました。

朝は朝食をつくり、母の昼の食事の準備、出勤後は昼食を忘れて食べない母に電話をし、食べるように声をかけています。介護保険を申請し、春からはデイサービスを利用する予定です。くだらない力を入れない介護を…。

会員からの お便り



生計中心者が介護に時間を割けない現実も 施設介護政策に重点を

▼和歌山県・Tさん 63歳

厚生労働省は介護政策方針の中で、施設介護から在宅介護へとシフトしつつあります。しかし、在宅介護が進むと必然的に男性の介護力がより必要となつてきます。しかし、現実には一家の生計の中心である者が介護ばかりに時間を割くわけにはまありません。

このような介護現場の実態と乖離した政策に対しては、男性介護者ネットワークとして、もっと施設介護に重点をおいた方向に活動を進めてほしいと思慮しております。今後、そのような運動にも積極的に参加してまいりたいと思っています。

介護は非常なストレス、 外泊もできない

▼東京都・Sさん 63歳

現在九三歳、要介護4の実母

理職で単身赴任を余儀なくされ各地を転々としました。その間義父から嫁いびりを受け、それを前面に立って庇いもしなかった私の実母に対して相当の恨みを持ち、それがトラウマとなつて、そこから脱却できない現状にあります。

そのため、今でも家内は私の母に対して「顔なんて見たくない」「早く死んじまえ」と言い続けています。人間世界の「輪廻転生」をいくら説き聞かせてもダメです。下の世話も含めてほとんど一切、長男の私が面倒を見ております。二年前まで町会長など社会活動をしていました。が今は退きました。

スローガンをつくり、 「男性介護ネット」の 認知度を高めて

▼大阪府・Yさん 48歳

会の意義目的を分かりやすく伝えるために、スローガンまたはアピールを作ってみてはいかがかと思うのですが。

を介護中。

非常にストレスが重なる介護という活動なのでいろいろと工夫しながら創意して面倒を看ている。自分の仕事だと割り切つてやっている。

しかし、外泊ができないので友人との旅行に行けないのがタマにきずだが、その分違う面でストレスをはきだしている。

三号のお便りの「語るだけ でなく、もっと本質の 議論を」を読んで

▼新潟県・Mさん 78歳

奈良県のHさんへ

先日のネット通信で「語り合うだけでは何も変わらない」とのお便りがありました。反論するわけはありませんが、初めて私が妻の異変にうろたえ、どう対応したらと苦渋の時、「家族の会」との語り合いでどれだけ助かったことか、そして今、介護し何とか対応できているのも会の介護先輩からの助言、語り合いのおかげです。

また、新しい介護者が初めは涙しながらの発言も、何回か会い語り合いの中で段々に落ち着きが見られることを思えば、語り合いがどれくらいに、私たちの大きな助言・励みになっていると思います。高度な望みよりも心の友が皆必要と思います。

妻は昨年六月に急逝、 病院、行政への不満残る

▼神奈川県・Oさん 83歳

前略、入会するのが遅すぎました。昨年六月に妻は急逝しました。わずか半年もたたないうちに何年も通院していた病院に入退院を三回繰り返して、普通の状態から要介護5までになりました。(介護の判定は死去の後に届きましたので、結果的には何の役にも立ちませんでした)

いつものように通院から帰ってきたその夜半に意識を失い、それがもとで半月ばかり後に帰らぬ人となりました。まさか、こんなことになるうとは夢にも思っていなかったので入退院を

繰り返す間、介護の知識もないし、諸手続きも分らず、三日目に退院したときは九日間の入院だったのに、曲りなりに伝い歩きをしていた人が全く立つことができなくなっているのに、うろろろするばかりでした。それでもやっと手はずを整え諸事万端何とかやっていけそうだと思ふようになった矢先のことでした。病院への不信、行政への不満が残りました。

しかし、もっと早くに気がついて勉強しておくべきだったと痛感しています。 草々

深夜ヘルパーの派遣を

▼京都府・Iさん 62歳

宮津市では深夜(午前二時頃)のヘルパー派遣が行われていない。ぜひ利用可能にしたい。

嫁いびりを受けた妻は 姑の介護できず私に

▼福島県・Dさん 69歳

国鉄に勤務していた当時、管

県別(地域別)ではコミュニケーションも取れない地域ではどうすればいいのだろうかと考えてしまいます。まだまだ、若年認知症の介護の支援体制や男性介護者ネット全てが地域に普及、理解、認知されていないのが現状です。介護と一口に言っても老々介護など状況は同じでなく、共有できる仲間ができれば介護生活がポジティブになれる気がします。

介護二三年目、新しいケア マネジャーで心が救われる

▼京都府 Hさん 80歳

「介護」って？ 一人で闘う戦争!! 数年が過ぎてみれば誰もいないたった一人ぼっちの闘い。女房が一年九ヶ月と十日間入院。退院後、母の認知症で二〇年、母と女房二人の介護で私は必死に闘い、平成二三年三月一四日で二三年目に入ります。

戦争中の唄で「月月火水木金金」休日の無い毎日が続き、もう限界かなと思っておりました時(平成八年秋)、新しいケアマ

ネジャーが来てくれました。彼女に自分の困っていることをひとつひとつ話していきました。それからちょうど一年、彼女は心から私たちに話してくれました。私たち夫婦がやってほしいことをテキパキと仕事をして、問題を解決して頂きました。年もまだ若いのに、介護者の心を理解し、本当によくやって頂きました。このような人が介護サージャの中で一人でも多くなり、私たち老々介護を支えて頂けたら本当にすばらしい介護サージャスだと思います。彼女に感謝を申し上げます。

ターミナルケアへの考え を聞かせて

▼京都府・Mさん 74歳

他人介護をしている立場から、現在、ご両親及び妻を介護されている介護者の方は、将来に渡りターミナルケアをされるのか、または他人介護にゆだねるのか、どのようにお考えなのか、お聞かせください。

当世介護事情

第3回

家族介護者の生活の変化は？

「見守りが重要だ」、「見守りが欠かせない」。このことは、介護している男性介護者の会員なら誰もが身をもって日々体験している、と言ってもよいと思う。

介護保険制度ではこの「見守り」がどうしてうまく機能しないのだろうか。「自立支援」は大事だが、この「見守り」も大事だ。制度がスタートして、「自立支援」が強調されればされるほど、一方で制度から「見守り」がこぼれ落ちていくような気がしてならない。ホームヘルパーのサービスが時間と提供する行為で細切れになり、「見守り」まではとても手が回ら

男性介護ネット・太田貞司（神奈川県立保健福祉大学教授）からの介護事情です。介護保険等に関する情報や動きを紹介します。

なくなった。「在宅重視」と言っても、「見守り」が手厚くならないと、結局は「安全なのは施設」になるのではないかと。

沖藤典子『介護保険は老いを守るか』（岩波新書、二〇一〇）には、介護保険サービスの「適正化」の中で、訪問介護サービスの調理や掃除などの「生活援助」がやせ細り、「見守り」機能が抜け落ちてきている様子が、各地の現場の声、実例をもとにリアルに描かれている。

「見守り」は、食事介助、排せつ介助の「身体介護」にも、「生活援助」にも必要だ。認知症の人たち、一人暮らし、高齢の老夫婦にも必要だ。「日常生活を営む」（介護保険法第1条）には、「見守り」が欠かせない。そして、大事なこ

とは、地域や家族との豊かな関係がある「日常生活」には、豊かな「見守り」が必要という点だ。私が監修したビデオ『生活支援とホームヘルパー』（二〇〇一）でも紹介したが、障がい者支援をしている末永弘さんは、私たちにこの「見守り」にこだわることの大切さを教えてくれる（参考：寺本晃久・末永弘等『良い支援？』生活書院、二〇〇八）。社会的な支援として、なぜ、「見守り」がうまく位置づかないのか。

Book INFORMATION

オトコの介護を生きるあなたへ
～男性介護者100万人へのメッセージ～
男性介護者と支援者の全国ネットワーク/編
孤軍奮闘する男性介護者へ向けた、男性介護ネットからのメッセージです。

定価1575円（税込み）
クリエイツかもがわ発行

ワンポイントアドバイス

男性介護者のための食事援助編
らくらく介護・家事のコツを紹介
します。
**葉物の下ごしらえ
が簡単にできる**

今月のアドバイザー
訪問看護師・松村美枝子さん

ほうれん草や小松菜のような葉物を茹でるとき、長いまま茹でていませんか？先に食べやすい長さに切って、茎の太いほうから時間差で湯に入れていけば均等に茹でることが出来ます。茹で上がったザルに取って、水にさらします。軽く絞って味噌汁やおひたし、胡麻和え、炒め物にすぐに使えます。安いときに多めに茹でて、保存袋に平らに敷き詰め冷凍保存しておくといつでもすぐに使えて便利です。冷凍するときにはアルミホイルの上に置くことで早く凍って新鮮さが保てます。

●食べやすい食器の工夫

食器は持ちやすいものが良いですね。コーヒークップやティーカップは、持ちやすくおすすりめです。

●嚥下障害のある方のお口の体操

飲み込むときに、おせやすい方は、食事の前に頬をふくらませたり、へこませたり、舌を出したり、左右に動かしたりしましょう。「タ、タ、タ」「カ、カ、カ」「ラ、ラ、ラ」「バ、バ、バ」の発音練習をしてから食べましょう。

皆さんの介護体験から生まれた
十人十色の介護ノウハウの
共通コーナーです

会員 坂口義弘
大阪府・茨木市

ほどほどの介護から、 一生懸命の介護、最期は自宅で

私七三歳。妻はアルツハイマー病を発症してから約二〇年。告知されてから一六年。骨折し、寝たきりになって六年。今ではターミナルのレベルにきている。

平成六年、検査入院の結果、アルツハイマー病と判る。その時から俺流の介護が始まる。手探りの介護である。

■前期：説得でなく納得で…

男性の行動パターンではあるが、アルツハイマー病の情報収集から始める。専門書まで読んだが難解。呆け老人をかかえる家族の会に行き着き、生きた情報と安らぎを得る。ヘルパー二級の資格を取得し介護の何たるかを学ぶ。

治療方法がないことを知り、漢方薬を探す。煎じて飲むこと十数年。漢方薬には色々

お世話になった。アルツハイマー病はもろろん、子宮不正出血、子宮体癌の治療に使い、私なりに納得している。その他色々な民間治療薬を試み、今なお、継続しているのが、漢方薬、プロポリス、還元水であり、アリセプトは二年程で止める。

■中期：頑張らない、ほどほどの介護で…

一〇年を過ぎた頃から周辺症状に悩まされる。どんな問題行動でも時間がくれば次のステージに移り、治まって行くことを知る。ステージが移るたびに新たな問題が発生するが、注意深く観察し、知恵と工夫で対処。最善を尽くしたことで悩まないように努める。

介護に重圧を感じてきた頃、自分の時間をつくろうと、「頑

張らない、ほどほどの介護」を考える。介護保険制度が始まり訪問介護、デイサービス、ショートステイの活用を始める。自由な時間は何と素晴らしいか。自由な時間何と素晴らしいか。自由な時間何と素晴らしいか。自由な時間何と素晴らしいか。

■後期：最後まで自宅で介護 そして看取る…

しかし、現実には厳しく、寝たきりになってからの六年間の介護で、私の体は首、腰、背中、痛みに悲鳴をあげる。前傾姿勢での介助とベッドからの移乗が首と腰に負担をかけていたようだ。首痛にはまるでスポーツをするように頸を引く肩甲骨を開いた介助が腰痛にはレンタルのリフトが

効果的である。

一年前に敗血症になり入院。嚥下困難から胃ろうの造設を迷ったあげく決断する。元気を取り戻した顔を見るにつけ正解だったと安堵。しかし、四ヶ月前に子宮体癌が見つかり、それが原因で二度目の敗血症で危篤状態になる。「自宅で看取りを」の決意で退院。しかし、敗血症の再発の危険性が高く、施設の利用は無理となる。ここでほどほどの介護は卒業する。流動栄養食と漢方薬を胃ろうから注入、タン吸引、痛みの緩和ケアと一生懸命の介護へとギアチェンジする。終末期になると医療行為が増えてくるが介護制度が使えない、全て家族が介助しなくてはならない。何とかヘルパーができるようにならないかとボヤク。介護を始めてから一六年よく生きていてくれたと感謝。感謝。二人で晴れやかにゴールを目指している。

俺流の介護





4月

都道府県	日時	内容→場所	連絡先
宮城	4月20日(火) PM1:00~3:00	男性介護者のつどい→みやぎNPOプラザ	認知症のひとと家族の会 宮城県支部 ☎022-263-5091
神奈川	4月16日(金) PM1:30~3:30	男性介護者の集い→アートフォーラムあざみ野	介護者サポートネットワーク「かいご勝手連」 mail.kaigo-k@live.com
滋賀	4月24日(土) AM10:30~PM2:00	男性介護のつどい→門前茶屋「かたたや」 守山駅から徒歩10分	認知症のひとと家族の会 滋賀県支部 ☎077-567-4565
兵庫	4月17日(土) PM1:00~3:00	男性介護者の集い→伊丹市南町高層住宅	NPO法人スマイルウェイ ☎0797-62-9320
	4月22日(木) PM1:00~3:00	男性介護者の集い→伊丹市 力湯	
	4月24日(土) PM1:00~3:00	男性介護者の集い→宝塚市社会福祉協議会 小林よりあいひろば	

5月

都道府県	日時	内容→場所	連絡先
東京	5月14日(金) PM1:30~3:30	男性介護者サロンM→荒川区社会福祉協議会3階	荒川区男性介護者の会オヤジの会 ☎03-3802-3338 (荒川区社会福祉協議会)
神奈川	5月21日(金) PM1:30~3:30	男性介護者の集い→アートフォーラムあざみ野	介護者サポートネットワーク「かいご勝手連」 mail.kaigo-k@live.com
長野	5月1日(土) PM2:00~3:00	男性介護者ミーティング→ 上田市地域生活支援センターえん	シルバーバックの会 ☎0268-72-8039
	5月8日(土) PM2:00~3:00	男性介護者ミーティング→小諸市相生町ノア	
兵庫	5月8日(土) PM1:00~3:00	男性介護者の集い→宝塚市社会福祉協議会 小林よりあいひろば	NPO法人スマイルウェイ ☎0797-62-9320
	5月13日(木) PM1:00~3:00	男性介護者の集い→伊丹市 力湯	
	5月23日(日) AM10:30~3:30	男性介護者の集い→宝塚市売布(※)	
	5月27日(木) PM1:00~3:00	男性介護者の集い→宝塚市 ふれあい鹿塩の家	

※第8回宝塚福祉コミュニティプラザコム祭り(NPO法人スマイルウェイが男性介護者の会として参加。男性介護者の会の様子をビデオ上映したり、男性介護者どうして話をします)

6月

都道府県	日時	内容→場所	連絡先
神奈川	6月15日(火) PM1:00~3:00	男性介護者情報交換会→青葉区福祉活動拠点「ふれあい青葉」会議室	介護者サポート「ほっと青葉」 ☎045-972-8836 (青葉区社会福祉協議会)
	6月18日(金) PM1:30~3:30	男性介護者の集い→アートフォーラムあざみ野	介護者サポートネットワーク「かいご勝手連」 mail.kaigo-k@live.com
長野	6月5日(土) PM2:00~3:00	男性介護者ミーティング→上田市地域生活支援センターえん	シルバーバックの会 ☎0268-72-8039
	6月12日(土) PM2:00~3:00	男性介護者ミーティング→小諸市相生町ノア	
滋賀	6月26日(土) ~27日(日)	男性介護者交流会→栗東市金勝山 森遊館 *日帰りも可	認知症のひとと家族の会 滋賀県支部 ☎077-567-4565
京都	6月19日(土) PM1:00~3:30	男性介護者交流会→京都社会福祉会館 (認知症のひとと家族の会京都府支部「男性介護者交流会」)	認知症のひとと家族の会 京都府支部 ☎075-811-8399
兵庫	6月10日(木) PM1:00~3:00	男性介護者の集い→伊丹市 力湯	NPO法人スマイルウェイ ☎0797-62-9320
	6月19日(土) PM1:00~3:00	男性介護者の集い→伊丹市南町高層住宅	
	6月26日(土) PM1:00~3:00	男性介護者の集い→宝塚市社会福祉協議会 小林よりあいひろば	

**会員のみなさまへ
寄付のお願い**

男性介護ネットは、発足1年目で会員数400名を越える団体へと飛躍的に拡大しました。2年目からはより積極的な活動を進めていきたいと考えております。皆様のご支援をお願いいたします。ぜひご協力いただきたく会費納入と併せてご寄付を頂戴できれば幸いです。

(事務局 秋田範子)

「男性介護ネット」は三月八日に満一歳となりました。記念となるこの通信を読みながら一年を振り返ってみると、発足会の日の会場一杯に集まった一六〇人もの参加者に驚いたこと、発足直後から始まった事務局へのみなさまからの問い合わせや励ましの声が嬉しかったこと、第一弾の男性介護体験記が出版されると大反響で大変だったことなど、感激と大忙しのあつという間の一年でした。

そんな一年の中で感じたこと、それは会を励まし支えてくださるたくさんの方のあたたかさ、そして介護の思いを語りわかりあえる仲間がいるということの心強さと大切さでした。

これからも男性介護ネットの一員として、みなさまと共に心を寄せ合いつながらあって、誰もが安心して暮らせる介護社会となるように、活動に取り組んでいきたいと思えます。

**後編
編集集**
Vol.4

